

令和4年度事務事業評価（令和3年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	
商業振興課	労政情報発信事業	2
商業振興課	中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業	3
商業振興課	勤労者福利厚生対策事業	4
商業振興課	労働金庫預託事業	5
商業振興課	中小企業人材確保支援事業	6
商業振興課	各種商業団体等支援事業	7
商業振興課	商工会議所支援事業	8
商業振興課	商工会支援事業	9
商業振興課	地区商店街支援事業	10
商業振興課	商業者育成事業	11
商業振興課	体験型起業家育成教育推進事業	12
商業振興課	小規模事業者伴走型支援強化事業	13
商業振興課	事業承継支援事業	14
商業振興課	「地域ブランド商品」振興事業	15
商業振興課	佐賀錦振興事業	16
商業振興課	地場産品交流会館管理事業	17
商業振興課	売茶翁情報発信事業	18
商業振興課	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	19
商業振興課	銀天夜市開催支援事業	20
商業振興課	バルーンフェスタ・サテライト事業	21
商業振興課	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	22
商業振興課	タウンマネジメント事業推進支援事業	23
商業振興課	戦略的商機能等集積支援事業	24
商業振興課	中心市街地活性化まち・ひと・しごと創生事業	25
商業振興課	街なか産学官連携支援事業	26
商業振興課	流通促進事業	27
商業振興課	物産販売協力店拡大事業	28
商業振興課	ふるさと名物応援強化事業	29
商業振興課	バスセンター管理事業	30
商業振興課	プレミアム付商品券発行支援事業	31
商業振興課	プレミアム付商品券発行事業	32
商業振興課	中小企業振興資金貸付事業	33
商業振興課	商工中金預託事業	34
商業振興課	同和金融対策事業	35
商業振興課	ライトファンタジー事業	36
商業振興課	まちづくり支援事業	37
商業振興課	中心市街地通行量調査経費	38
商業振興課	街なか来訪者等動向調査経費	39
商業振興課	未来技術を活用した街なかブランディング事業	40
商業振興課	旧T O J I N茶屋解体事業	41
商業振興課	街なか交流広場管理事業	42
商業振興課	街なか再生計画推進事業	43
商業振興課	中央大通り再生計画推進事業	44
商業振興課	街なかふれあいプラザ管理運営事業	45
商業振興課	文化交流プラザ管理運営事業	46
商業振興課	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	47
商業振興課	事業継続支援事業	48
商業振興課	新しい生活様式対応催事開催支援事業	49
商業振興課	街なか出店伴走支援事業	50
商業振興課	中心市街地機能複合化推進事業	51
商業振興課	バスセンター設備等改修事業	52
商業振興課	バスセンターサイン再編整備事業	53

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労政情報発信事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図るため、事業主等に労働局などの関係機関から収集した労働情報を、労政だより送付（年2回）等の方法により積極的に提供する。専門家による夜間労働相談（社会保険労務士）を工業振興課が実施している夜間経営相談（中小企業診断士）とともに月2回行う。				
事業の対象者	事業主、労務担当者、勤労者				
令和3年度主な活動実績	各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図った。 ・「労政だより」を2回（9月・1月）作成・送付（延べ配布件数7,640件） ・市報に労働に関する記事を掲載（各種情報の記事32件） ・県社会保険労務士会に委託し、労働相談を実施 夜間労働相談（第2・4水曜日）24回、面談での相談件数8件、メールでの相談件数3件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,146	1,159			
うち佐賀市の負担額	1,146	1,159			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
夜間労働相談利用件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
13	13 11	13	13	13		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により対面での相談が減少し、有効求人倍率も上向きで推移していることにより相談件数が伸び悩んでいる。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、各種情報の周知、事業主や勤労者の利便を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小企業の福利厚生について、地域の中小企業勤労者と事業主が共同し、総合的な福祉事業を行う中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費の一部を負担する。福利厚生の充実により事業所における人材の確保や定着化、企業活力の維持・向上を図ることで地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	中小企業で働く中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員及びその家族				
令和3年度主な活動実績	総合的な福祉事業を行う中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費の一部を負担した。 ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営費を一部負担（1,160千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,160	1,160			
うち佐賀市の負担額	1,160	1,160			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
共済給付・サービスの利用件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,513	4,513 4,354	4,513	4,513	4,513		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により余暇活動へのサービス利用件数が減少し、会員数も減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・労政だより等による広報を行い、福利厚生の充実により事業所における人材の確保や定着化、企業活力の維持・向上を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	勤労者福利厚生対策事業	事業期間	平成 7 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	勤労者の福利厚生の推進を目的に活動を行う、佐賀県労働者福祉協議会及び佐賀地区労働者福祉協議会へ負担金及び補助金を支出する。勤労者の福祉活動を推進し、福祉事業に関する事項全般についての啓発、普及、実践等により、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図る。				
事業の対象者	佐賀地区の勤労者				
令和3年度 主な活動実績	勤労者の福利厚生の推進を目的に活動を行う、佐賀県労働者福祉協議会及び佐賀地区労働者福祉協議会へ負担金及び補助金を交付した。 ・佐賀地区労働者福祉協議会に補助金交付（368千円） ・佐賀県労働者福祉協議会に負担金支出（250千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	800	618			
うち佐賀市の負担額	800	618			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
行事参加延べ人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
290	290 302	290	290	290		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症対策を講じ研修会等実施したため目標達成ができた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、勤労者の福祉の増進と社会保障制度の確立を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	労働金庫預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫が行う生活資金及び福利厚生資金の貸付原資として、九州労働金庫へ預託を行う。労働金庫の融資制度の運用資金の一部を預託することにより、原資調達負担を軽減し、利用しやすい制度とすることで、市内に居住する勤労者の生活の安定に資する。				
事業の対象者	勤労者				
令和3年度主な活動実績	一定所得以下の勤労者の生活の安定を図るため、九州労働金庫へ預託を行った。 ・九州労働金庫佐賀支店に預託（56,500千円） ・令和3年度貸付状況 451件（2,354,473千円）、年度末残高 3,323件（32,692,405千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	56,500	56,500			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
402	405 451	407	410	413		

成果指標②						単位
佐賀市勤労者生活資金・福利厚生資金貸付金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,597,467	3,790,000 2,354,473	3,790,000	3,790,000	3,790,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により借入に慎重な動きが続いている。また、借入の多くが少額・短期返済の案件が多い。



成果目標達成に向けた対応策等
九州労働金庫佐賀支店と連絡を密にとり、目標達成に向けた情報共有を行う

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業人材確保支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中小企業者の円滑な人材確保を図るため、採用情報の充実を含むホームページの作成、企業紹介動画の作成、合同企業説明会への出展等に係る経費の一部を助成する。				
事業の対象者	市内中小企業者				
令和3年度 主な活動実績	合同企業説明会への出展等に係る経費の一部を助成した。 ・補助実績 10件 ・中小企業者における採用実績 25人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,300	1,948			
うち佐賀市の負担額	2,300	1,948			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
中小企業者における採用実績						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3 25	3	3	3		

年度	目標	実績
R2	3	3
R3	3	25
R4	3	25
R5	3	25
R6	3	25

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	佐賀県・商工会議所・商工会と連携を行い広報に力を入れ、多くの事業者の方への認知ができたため目標達成ができた。

成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、市報・HP等を利用し広報活動を行い、中小企業者の円滑な人材確保に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種商業団体等支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	さが県産品流通デザイン公社、佐賀県農林水産物等輸出促進協議会、佐賀県商店街振興組合連合会、佐賀県たばこ協同組合佐賀支部が実施する研修会や支援事業等の運営費の一部を助成した。商工業者が各種商業団体の事業等に参画し、各業界の販売活動が活性化される。				
事業の対象者	市内の中小企業者				
令和3年度 主な活動実績	各団体が実施する研修会や支援事業等の運営費の一部を助成した。 ・4団体合計1,880千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,030	1,880			
うち佐賀市の負担額	2,030	1,880			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各種商業団体の構成員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
335	332 332	329	326	323		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	各団体会員のニーズを把握し、研修や販路開拓支援を実施しているため目標達成となった。



成果目標達成に向けた対応策等
各団体と連絡を密にとり、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会議所支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業の育成発展を図るため、佐賀商工会議所が行う、経営、情報化、金融、税務、労働等についての窓口相談、巡回指導の実施、各種講習会、研修会の開催等の中小企業に対する相談事業等に対し補助金を支出する。中小企業者の経営改善発達を促進し、業績の向上と経営の安定を図る。				
事業の対象者	市内の中小企業の事業主等				
令和3年度 主な活動実績	佐賀商工会議所が行う、相談事業等に対し補助金を交付した。 ・補助金2,950千円支出				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,950	2,950			
うち佐賀市の負担額	2,950	2,950			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会議所会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,498	2,512 2,516	2,524	2,536	2,548		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工会議所との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工会支援事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業の育成発展を図るため、佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が行う、経営、情報化、金融、税務、労働、取引、環境対策、記帳指導等についての窓口相談、巡回指導の実施、各種講演会、研修会の開催等の経営改善普及事業及び商工業振興、観光振興、労働保険研修等の地域総合振興事業に対し補助金を支出する。中小企業者の経営改善発達を促進し、業績の向上と経営の安定を図る。				
事業の対象者	南商工会及び北商工会地区の中小企業の事業主等				
令和3年度主な活動実績	佐賀市北商工会及び佐賀市南商工会が行う、経営改善普及事業と地域総合振興事業に対し補助金を交付した。 (45,000千円補助金支出)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	45,000	45,000			
うち佐賀市の負担額	45,000	45,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商工会会員数						者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,066	1,060 1,063	1,054	1,048	1,042		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
商工会との連絡を密に取り、目標達成に向けた情報共有を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地区商店街支援事業	事業期間	昭和 44 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の地区商店街等が、地域の活性化や商業の振興を図るために自主的かつ意欲的に実施する商業振興事業に要する経費の一部について支援を行う。				
事業の対象者	市内の地区商店街等				
令和3年度主な活動実績	大財商工振興会、県庁通り商店連盟、中央本町商業振興会が実施した商業振興事業に対し、その経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	406	385			
うち佐賀市の負担額	406	385			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援を実施した地区商店街数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	3 3	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	補助事業者である地区商店街が積極的かつ継続的に商業振興事業に取り組んだことから、目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
地区商店街は、地域の高齢者等にとって必要な存在であるが、会員の高齢化や減少、後継者不足により組織活動が休止する懸念があるため、状況を把握し、支援に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業者育成事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内商業者を対象に個店を訪問したうえで個別の指導を行い、消費者から選ばれる事業者の育成を図る。実践的な商売の知恵、経営ノウハウを習得し、かつ「考える経営者」としての意識をもち、経営能力が向上する。さらに参加者同士での交流を通じ、域内の事業者が活性化することを目的とする。				
事業の対象者	市内の中小小売業等経営者、後継者及び従業員				
令和3年度主な活動実績	消費者から選ばれる事業者の育成を図った。 委託先：佐賀市南商工会 内容：事業計画作成支援 受講店舗数：17店				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,029	1,029			
うち佐賀市の負担額	1,029	1,029			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
役に立ったと感じた受講者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	80 88	80	80	80		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	事業者のニーズを把握し、専門家からの適切な指導、指導員によるフォローアップがなされたため目標達成ができた。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も80%以上の高い数値を維持できるように、商工会議所・商工会と情報を密にとり、目標達成に向けた情報交換を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	体験型起業家育成教育推進事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	小学生を対象とした一連の商売活動を実際に体験させるキッズマート及び仕事の魅力、やりがい等を実際の職業人に聞く職業人インタビュー並びに中学生を対象としたビジネスマナー講座、キャリア講話等を通じて、起業家精神の醸成を図る。				
事業の対象者	市内の小学校高学年の児童、市内中学校の生徒				
令和3年度 主な活動実績	○体験を行った学校数 ・キッズマート 小学校4校（251名） ・職業人インタビュー 小学校1校（58名） ・ビジネスマナー講座、キャリア講話等 中学校7校（894名）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	2,000			
うち佐賀市の負担額	2,000	2,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商売のしくみがわかったと答えた児童の割合（小学生）						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
97.9	98.0 96.6	98.0	98.0	98.0		

成果指標②						単位
						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	児童生徒が自らの意思で考え、行動する力を育む実践の場を提供することで、より理解を深められたと考える。



成果目標達成に向けた対応策等
小学生向け、中学生向けともに児童生徒の発達段階に応じたプログラムを実施することで次世代の起業家育成を図るとともに、子どもたちの地域への理解を深め、地域の活性化につなげるため、学校・企業・地域との連携を図りながら事業を実施する必要がある。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	小規模事業者伴走型支援強化事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき商工会及び商工会議所が行う、調査分析、販路開拓等の小規模事業者に対する伴走型支援に係る経費の一部を助成し、小規模事業者の事業の持続的な発展を図る。				
事業の対象者	市内小規模事業者				
令和3年度 主な活動実績	商工会及び商工会議所が行う事業に対し補助金を交付した。 ・佐賀商工会議所 1,892千円 ・佐賀市南商工会 483千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,870	2,375			
うち佐賀市の負担額	2,870	2,375			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
商工会議所・商工会会員数					者
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
3,564	3,572 3,579	3,578	3,584	3,590	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	創業、事業継続力強化、販路拡大、事業承継支援を中心に様々な経営課題の改善ができるよう伴走型の支援を実施していることから目標が達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
商工会議所・商工会と情報を密にとり、目標達成に向けた情報交換を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

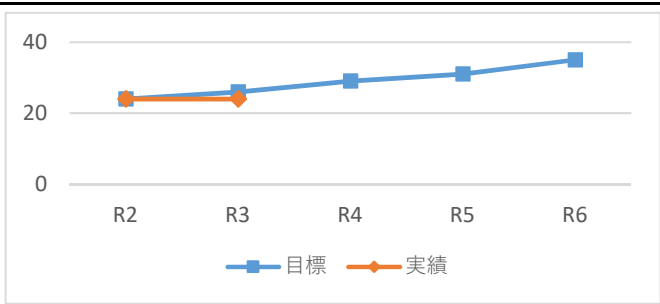
事務事業名	事業承継支援事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

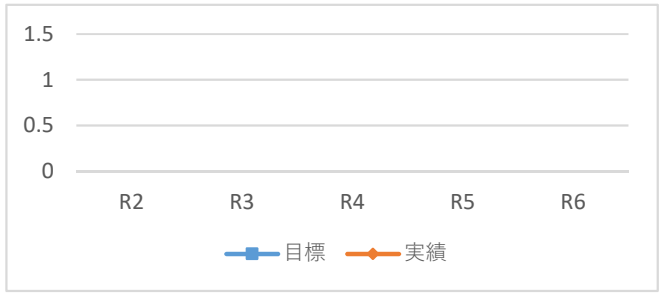
事業概要・目的	中小企業の円滑な事業承継を図るため、事業者への早期取組の啓発や、事業承継に係る経費の補助等を行う。				
事業の対象者	市内中小企業者				
令和3年度 主な活動実績	中小企業の円滑な事業承継を図るため、事業者への早期取組の啓発や、要綱を改正して後継候補者育成のための外部研修受講に係る経費に対する補助を制度化した。 ・商工団体に委託し、事業募集のチラシを配布 ・市ホームページ及び労政だより1月号による広報				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,956	112			
うち佐賀市の負担額	2,956	112			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀県事業承継・引継ぎ支援センター成約件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
24	26 24	29	31	35		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	事業の実施については、佐賀県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携は不可欠である。市補助金とあわせて事業者への周知を積極的に実施し、活用につなげたい。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も積極的な広報によって早期取組を啓発するとともに、事業承継ネットワークとの連携をしっかりと行い、事業承継に係る経費を補助するなどの取組によって円滑な事業承継の促進に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	「地域ブランド商品」振興事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	02活力ある商工業の振興		
	基本事業	地域ブランドの強化		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内地場産品の商品力及び販売力向上のために、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出するとともに、地場産品の新たな商品開発や販路拡大等の取組に要する経費の一部を助成し、地場産品の振興を図る。				
事業の対象者	市内事業者				
令和3年度 主な活動実績	市内地場産品の商品力及び販売力向上のため商談会を開催し、流通関係者との商談やアドバイスを受ける機会を創出した。また、新たな商品開発や販路拡大等の取組に要する経費の一部を助成した。 ・佐賀ものづくりWEB商談会の開催（11/16、参加事業者数17事業者、参加パイヤー数17人） ・チラシ製作、新商品開発等に要する経費の補助（補助実績3件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	835	1,538			
うち佐賀市の負担額	835	1,538			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	5 4	5	5	5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から商談会をWEBに変更し開催。状況に合わせて、市内事業者と流通関係者を引き合わせる機会を創出し、販路拡大を図る。



成果目標達成に向けた対応策等
市場ニーズの動向と地場産品の特長や課題を踏まえ、流通関係者との効果的なマッチングの機会を創出する。また、流通関係者からの評価を市内事業者にフィードバックし、新商品開発等にかかる費用の一部を助成することで、地場産品の価値向上を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

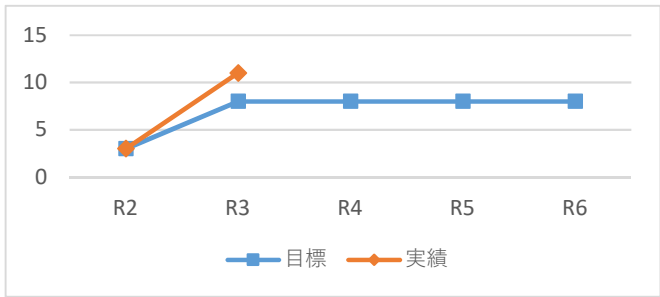
事務事業名	佐賀錦振興事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

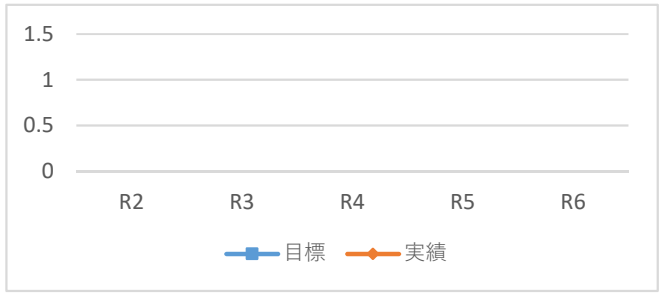
事業概要・目的	佐賀県指定伝統的地場産品である佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上のため、佐賀錦の手織りの実演や体験指導を行うとともに、都市圏での催事への出店を促すことにより、新たな販路開拓と県外への情報発信を図る。				
事業の対象者	佐賀錦振興協議会、市民				
令和3年度 主な活動実績	佐賀錦の手織り技術の伝承及びブランドとしての知名度向上並びに作品の展示等による佐賀錦の情報発信を図った。 ・佐賀市歴史民俗館内における佐賀錦手織りの実演と体験指導の実施 (製作実演見学者数：1,951人、製作体験者数：65人) ・佐賀錦の技術伝承と担い手育成のためのテキスト製作に要する経費の補助				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,441	2,718			
うち佐賀市の負担額	2,441	2,718			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
後継者育成数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	8 11	8	8	8		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの自粛等により、活動が制限され、後継者育成数が少なかったが、R3年度は感染防止対策を講じながら手織り佐賀錦の製作体験指導等を行ったことにより後継者育成数の目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
催事出店や商品開発等の支援及び各種広報媒体を活用した知名度向上に取り組むとともに、引き続き手織りの実演と体験指導を実施することで新規後継者を確保する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地場産品交流会館管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	地域ブランドの強化	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供するとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
令和3年度 主な活動実績	施設の適正な管理を行うとともに、地場産品の販売及び普及を促進し、地場産業の振興を図った。 ・会館日数 302日 ・利用者数 4,921人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,058	4,850			
うち佐賀市の負担額	4,949	4,718			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
地場産品交流会館来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,474	5,000 4,921	8,000	9,000	10,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	前年度に比べ来館者数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことによる外出の自粛、イベント中止による影響を受け、目標達成には至っていない。そのような中でも定期的に地場産品を活用したイベントを行っており、地場産品に触れる機会を創出している。

成果目標達成に向けた対応策等

引き続き、定期的にイベント等を開催することにより、来館者を増やし、施設・地場産品の認知度を高める。また、周辺施設と連携し、市民や観光客の周遊を促進することで、地場産品の情報発信効果を高めていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	売茶翁情報発信事業	事業期間	平成 26 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	椋木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O2活力ある商工業の振興		
	基本事業	地域ブランドの強化		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市出身で煎茶の祖とされる高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図る。				
事業の対象者	一般市民、観光客				
令和3年度 主な活動実績	高遊外売茶翁の情報を発信し、併せてイベントを開催することにより、市民及び観光客への浸透と来街促進を図った。 ・イベント回数 4回 ・イベント参加者数 559人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	2,000			
うち佐賀市の負担額	2,000	2,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
880	900 559	950	1,000	1,050		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの規模縮小、参加人数の制限等の実施により、目標値を下回った。しかしながら、イベント開催時には常に定員を上回る応募があるなど、高遊外売茶翁の認知度は年々増加しており、今後は参加者の増加が見込まれる。

成果目標達成に向けた対応策等

高遊外売茶翁についての情報発信を引き続き行うとともに、イベントの開催や講演会を行うことにより高遊外売茶翁のブランド力を高める機会を創出し、県内外へ広めることで観光客の誘客、街の賑わいを促進していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内に830体以上あり、その数日本一と言われている恵比須像を活かした街づくりを行うために、開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助する。				
事業の対象者	市民、中心市街地内の事業者及び事業者、恵比須DEまちづくりネットワークが実施するまちづくり活動団体				
令和3年度 主な活動実績	開運さが恵比須ステーションの適切な運営を行うとともに、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助した。 ・恵比須ステーション開館日数 303日 ・恵比須ステーション来館者数 2,185人 ・恵比須巡りツアー実施回数、参加者数 28回、161人 ・恵比須講座実施回数、参加者数 13回、176人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,000	8,500			
うち佐賀市の負担額	9,000	8,500			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
恵比須ステーション来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,295	2,300 2,185	3,000	3,500	4,000		

成果指標②						単位
恵比須巡りツアー・恵比須講座への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
406	550 337	700	850	1,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベントの中止や規模縮小を行ったことにより、目標達成には至っていない。



成果目標達成に向けた対応策等
平成25年に設置した開運さが恵比須ステーションを拠点として、八十八ヶ所巡りや恵比須ツアーを軸に、恵比須を活用した他団体との連携等により、引き続き中心市街地への来街者の増加に繋げていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	銀天夜市開催支援事業	事業期間	昭和 42 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地及び地域経済の活性化を図るために銀天夜市実行委員会が主催する夏の風物詩『銀天夜市』に対し、必要な経費の一部を補助する。				
事業の対象者	中心市街地内の商業者及び事業者並びに市民				
令和3年度 主な活動実績	銀天夜市実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、春の開催となった。 ・開催実績 1回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	865			
うち佐賀市の負担額	0	865			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,000 405	4,000	5,000	6,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	例年、夏のイベントとして7月から8月にかけて開催しているが、令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により銀天夜市春まつりと銘打ち、3月に1回のみ開催となったため、来場者数が減少した。



成果目標達成に向けた対応策等
半世紀を超える中心市街地の夏の風物詩であるが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者数が大幅に減少した。来街者の増加を図るため、顧客ニーズに合ったイベントの実施、担い手の確保等を図っていく必要がある。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンフェスタ・サテライト事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタのサテライト会場を中心市街地に設置し、骨董市等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場と東よか干潟）、街なかでの販促活動や装飾等に要する経費の一部を助成することで、中心市街地への来街を促進するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の商業者・事業者、バルーンフェスタ来場者（補助対象はバルーンフェスタ・サテライト実行委員会）				
令和3年度 主な活動実績	バルーンフェスタ・サテライト実行委員会に補助金を交付し、骨董市等の集客イベントの開催や販促活動、装飾等の取組を支援した。 ・開催期間：令和3年11月3日（水・祝）～11月7日（日）【5日間】 ・開催場所：中心市街地（656広場、松原神社、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	10,350			
うち佐賀市の負担額	0	10,350			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベント来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
-	50,000 67,247	50,000	50,000	55,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	広報手段の見直し（専用WEBサイトの作成、ディスプレイ広告の配信等）や回遊性の高いイベントを実施したことにより、来場者数の増加につなげることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
ターゲットに訴求できる効果的な広報活動や、魅力的で回遊性を高められるイベント等を充実させることによって、中心市街地への来街を促進し、更なる賑わいを創出していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀城下ひなまつりの開催予定期間に合わせて、中心市街地において、ひな飾り等の設置や骨董市、街なかコンサート等の集客イベントの開催に要する経費の一部を助成し、中心市街地のイメージアップを図り、賑わいを創出するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	佐賀城下ひなまつり開催期間に中心市街地を訪れた市民・中心市街地の商業者及び事業者				
令和3年度主な活動実績	佐賀城下ひなまつり街なか賑わいづくり実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催期間 令和4年2月11日（金・祝）～3月21日（月・祝）【39日間】 ・開催場所 中心市街地（656広場、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,210	4,510			
うち佐賀市の負担額	5,210	4,510			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位	
イベント来場者数					人	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
44,398	45,000 53,062	50,000	55,000	60,000		
成果指標②					単位	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度に比べ利用者数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による、外出の自粛、イベントの規模縮小、参加人数の制限等を受け、例年並みの来場者数には至っていない。



成果目標達成に向けた対応策等
事業費の削減 = 活動量の減少とならないよう、イベント開催者と協議を行いながら、効果的な集客方法を検討する。また、イベントへの自主参加を呼びかけ、事業費を維持したままで、活動量を増やしていきたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	タウンマネジメント事業推進支援事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	NPO法人まちづくり機構ユマニテさが行う中心市街地の活性化を図るための機関運営及び各種事業を支援する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度 主な活動実績	NPO法人まちづくり機構ユマニテさがへの補助を行い、当該団体の機関運営及び中心市街地活性化事業を支援した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,000	21,500			
うち佐賀市の負担額	18,000	21,500			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、中心市街地の活性化に向けた新たな方策を企画・立案するとともに、官民連携により様々な取組を展開し、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
NPO法人まちづくり機構ユマニテさが中心市街地活性化法に規定する「中心市街地整備推進機構」として指定する唯一の団体であるため、引き続き連携しながら、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

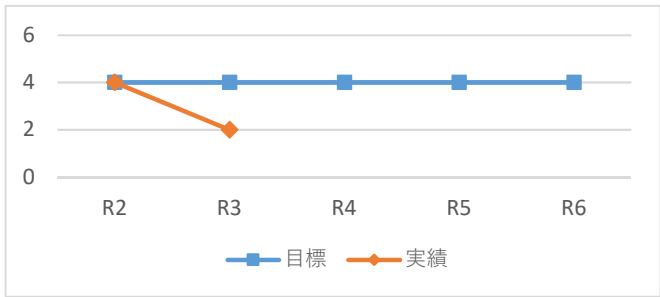
事務事業名	戦略的商機能等集積支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

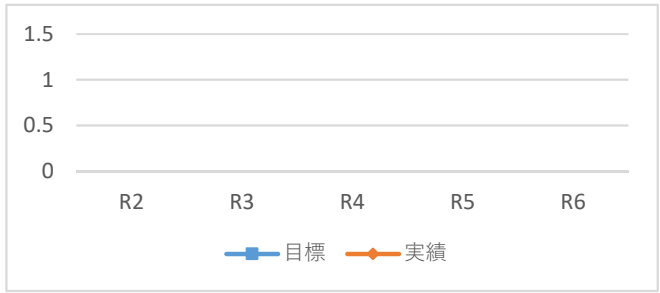
事業概要・目的	中心市街地を活気に満ちた魅力ある空間にするため、戦略的に商機能の集積を図るとともに、出店意欲旺盛な事業者の新規参入を促進する事業に係る経費の一部を助成する。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和3年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、補助を行った。(新規出店者数：2人)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476	3,400			
うち佐賀市の負担額	2,838	2,400			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	4 2	4	4	4		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響等により、例年より出店に関する相談が少なく、事業者が出店に慎重な姿勢であったことから、新規出店にまで至らなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
活用可能な遊休不動産の掘り起こしや、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化し、4核構想エリア及び中央大通りエリアにおいて、重点的に商機能の集積を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地活性化まち・ひと・しごと創生事業	事業期間	平成 27 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の活性化を図るため、都市圏からのU I J ターン希望者等の働く場の創出を目的とした施設の整備費を補助する。				
事業の対象者	事業者等				
令和3年度 主な活動実績	・補助実績：1件 ※令和2年度に審査を実施した補助対象者による施設整備が、新型コロナウイルス感染症によるサプライチェーンのき損の影響で完成が遅れたため、令和3年度に繰り越した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
事業総額	36	5,000			
うち佐賀市の負担額	36	5,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位	
新規開業者数					人	
R2 実績	R3 目標	目標	目標	目標	目標	
0	1					
	1					
成果指標②					単位	
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	目標	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和2年度から繰り越した事業であり、補助事業者の施設整備が予定どおり完了できた。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は令和3年度（令和2年度繰越分）で終了し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした「多様な働き方」に対応した働く場の整備に対する新たな支援策として、令和3年度から「中心市街地機能複合化推進事業」を実施している。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか産学官連携支援事業	事業期間	平成 28 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	まちづくり団体との連携の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀大学まちづくりサテライト「ゆつら〜と館」の運営に要する経費の一部を助成し、セミナーやイベント等の開催による中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和3年度 主な活動実績	佐賀大学まちづくりサテライト「ゆつら〜と館」の運営に要する経費の一部を助成し、セミナーやイベント等の開催により中心市街地の活性化を図った。 ・セミナー等開催回数 52回 ・セミナー等参加者数 412人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000	3,000			
うち佐賀市の負担額	2,700	2,400			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
「ゆつら〜と館」利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
554	600 412					

年度	目標	実績
R2	600	554
R3	600	412

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により開催日数、参加者数の減少はあったものの、大学との連携を図り、若者が中心市街地で活動することにより持続的な中心市街地の振興を図った。



成果目標達成に向けた対応策等
まちづくりサテライト「ゆつら〜と館」の運営について、佐賀大学から撤退の申し出があり、本事業は令和3年度で終了することとなった。本事業を通じて得られた産学官の連携については、他の事業等で活かしていきたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	流通促進事業	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産品の販路開拓を図るため、流通関係者と市内事業者の商談機会を創出するとともに、百貨店催事への出店、佐賀市物産販売協力店を活用したイベント等を実施することで、地場産品の販売を促進する。				
事業の対象者	市内事業者				
令和3年度 主な活動実績	流通関係者との商談会の開催及び百貨店催事等への出店を実施し、地場産品の販売を促進した。 ・流通関係者との商談等（招へい企業数 延べ3社、訪問企業数 延べ42社） ・百貨店催事等の実施（実施件数20件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	26,232	21,280			
うち佐賀市の負担額	26,232	21,280			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
商談成立件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	35 18	35	35	35		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	R3年度はECサイト、実店舗共に新規商品の採用が少なかった。理由として、R2年度においてECサイトの新規採用数が多かったこと、新型コロナウイルス感染症の影響により商談会を中止したことが考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
地場産品の効果的な広報を行い、商談の機会を増やし、地場産品の販路の開拓、拡大を図る。近頃では、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた各種イベントや催事等が開催されることも多くなった。そのため、百貨店バイヤーや小売店、事業者とのコミュニケーションをとり情報収集に努めるとともに、商談会等の開催を通して商談機会の創出を目指す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	物産販売協力店拡大事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場製品のブランド化と販路拡大の効果的な推進を目的に、都市圏の自社店舗にて地場産品（加工食品、酒類等）の店頭販売や、農水産品の飲食メニューへの採用などに積極的に取り組んでいただく物産販売協力店の拡充を図る。				
事業の対象者	全国の小売業、飲食店				
令和3年度 主な活動実績	都市圏の自社店舗にて地場産品の店頭販売や、農水産品の飲食メニューへの採用などに積極的に取り組んでいただく物産販売協力店の拡充を図った。				
	・新規設置に向け商品提案等を行った店舗数	3	4	店舗数	
	・試験販売を実施した店舗数	1	店舗数		
	・物産販売協力店店舗数	2	1	店舗数	
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,499	2,483			
うち佐賀市の負担額	2,499	2,483			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規物産販売協力店認定店舗数						店舗
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	1 0	1	1	1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染拡大に伴う、移動の制限やイベントの中止、営業時間の短縮等で都市圏の事業者が新たな商材の取り扱いを控える傾向が見受けられた。

成果目標達成に向けた対応策等

引き続き都市圏において佐賀産品のニーズ調査を行うとともに、店舗の事業規模や特色を踏まえた商品提案を行うことにより新規認定に向けた機会を創出できるよう努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ふるさと名物応援強化事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 流通促進係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	地場産品の知名度向上・イメージアップを図り、需要を喚起するため、メディアに対する情報提供や地場産品の魅力を直接的に消費者等へPRする物産展等を実施することで、地場産品の販路拡大を創出する。				
事業の対象者	市内事業者（食品・工芸品）				
令和3年度 主な活動実績	メディアに対する情報提供や地場産品の魅力を直接的に消費者等へPRする物産展等を実施することで、地場産品の販路拡大を図った。 ・物産展等の実施件数 14件 ・メディアへの情報提供数 19件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,100	7,100			
うち佐賀市の負担額	7,100	7,100			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
物産展等の実施件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11	11 14	11	11	11		

成果指標②						単位
メディアへの情報提供数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
21	30 19	30	30	30		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	R2年度と比較すると、徐々に街中に人が戻ってきているため、感染対策を講じた上で百貨店や小売店等での催事が行われた。しかし、事業者は新型コロナウイルス感染症による影響も大きく、新商品開発の余力があるところが少ない。そのため、メディアへの情報提供が減っている。

成果目標達成に向けた対応策等

催事等については、感染対策を講じた上で開催されることが多くなってきている。そのため、百貨店や小売店との関係を構築し、イベント等の情報を素早く入手することで、出店機会の創出に努める。また、補助金の紹介やセミナーの開催などを通して、事業者のサポートを行い、新商品の情報を迅速に入手し、メディアへの情報提供やSNS等の多様な媒体を用いた情報発信に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

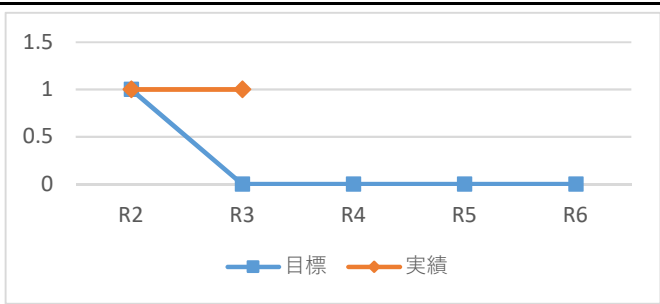
事務事業名	バスセンター管理事業	事業期間	昭和 51 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	日々、多くの利用者がある佐賀駅バスセンターの利便性及び快適性を確保するため、適切な管理を行う。				
事業の対象者	バスセンター利用者				
令和3年度 主な活動実績	佐賀駅バスセンターの利便性及び快適性を確保するため、適切な管理を行った。 ・佐賀駅バスセンターの借地料 13,680,000円 ・佐賀駅バスセンター設備補修費等 1,014,665円 ・夜間警備等に要した経費 3,567,610円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	20,502	18,519			
うち佐賀市の負担額	0	0			

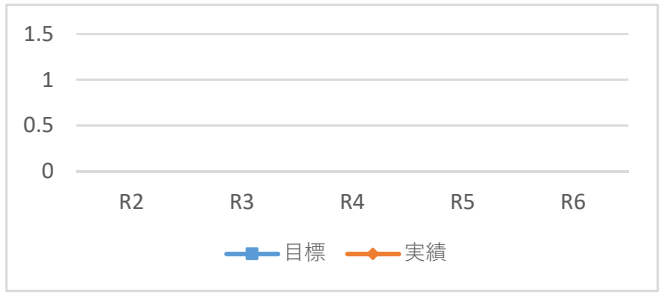
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度（提言中苦情件数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	0 1	0	0	0		



年度	目標	実績
R2	0	1
R3	0	1
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀駅バスセンターを利用する方の利便性、快適性を確保するため、日々の管理に努め、夜間の警備業務等、佐賀県バスタクシー協会などの事業者と連携を図りながら実施した。



成果目標達成に向けた対応策等
管理・運営を行っている県バスタクシー協会と連携して、社会情勢の変化に対応し、利便性及び快適性の確保に努める。

令和4年度 事務事業実績報告シート

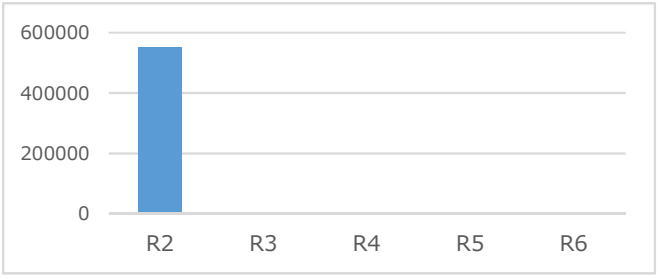
事務事業名	プレミアム付商品券発行支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

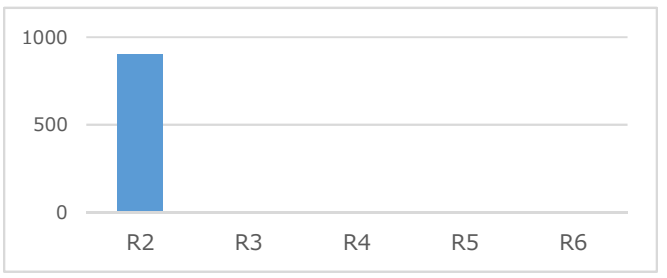
事業概要・目的	市民の域内消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復・立て直しを図ることを目的に、商工会議所及び市内商工会が実行委員会を組織してプレミアム付商品券（第2弾）「さがきゃあもん商品券」の発行する事業に対し、経費の支援を行った。 ・プレミアム率 飲食券30%、共通券20% ・発行総額 5.5億円 飲食券（6,500円/冊×20,000冊） 共通券（6,000円/冊×70,000冊） ・利用期間 令和2年11月14日（土）～令和3年2月28日（日） ・参加店舗数 900店舗（飲食409、その他491）				
事業の対象者	佐賀市プレミアム付商品券発行事業実行委員会（佐賀商工会議所、佐賀市北商工会、佐賀市南商工会）				
根拠法令等	佐賀市補助金交付規則、佐賀市プレミアム付商品券発行事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	136,000	8,804			
うち佐賀市の負担額	0	3,170			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
発行総額					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
550,000	0				



活動実績②					単位
参加店舗数					店舗
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
900	0				



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地域経済活性化事業として、プレミアム付商品券第2弾「さがきゃあもん商品券」を発行し、市民の消費喚起効果を促した。
本商品券の利用者アンケートの結果、「消費喚起効果」3.28億円（328%）、「消費効果」6.60億円（661%）と算出している

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	プレミアム付商品券発行事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の域内消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復・立て直しを図ることを目的に、プレミアム付商品券（第3弾）「がばい買える」を発行した。 ・プレミアム率 飲食券30%、共通券20% ・発行総額 6.15億円（飲食券5,000円/冊×30,000冊、共通券5,000円/冊×70,000冊） ・利用期間 令和3年6月30日（水）～令和3年10月31日（日）（9月30日から延長） ・参加店舗数 951店舗（飲食461、小売490）				
事業の対象者	佐賀市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額		177,631			
うち佐賀市の負担額		0			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
発行総額					千円
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	615,000				

活動実績②					単位
参加店舗数					店舗
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	951				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症対応地域経済活性化事業として、プレミアム付商品券第3弾「がばい買える商品券」を発行し、市民の消費喚起効果を促した。 本商品券の利用者アンケートの結果、「消費喚起効果」4.11億円（358%）、「消費効果」7.42億円（646%）と算出している
--

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中小企業振興資金貸付事業	事業期間	昭和 55 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	02活力ある商工業の振興		
	基本事業	既存商工業の経営支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業に対する資金供給を円滑にするため、市内金融機関に融資資金を預託し、また、融資を受ける中小企業の負担を軽減するため佐賀市中小企業振興資金の貸付に係る信用保証料を全額補給する。				
事業の対象者	市内で6ヶ月以上継続して同一の事業を営み、市税を完納している中小企業者等				
令和3年度 主な活動実績	市内中小企業に対する資金供給を円滑にするため、市内金融機関に融資資金を預託した。 融資取扱金融機関 佐賀銀行・佐賀共栄銀行・佐賀信用金庫・西日本シティ銀行・十八親和銀行・ 商工組合中央金庫・佐賀東信用組合・福岡銀行・長崎銀行・横浜幸銀信用組合・ 大川信用金庫 令和3年度貸付状況 144件（628,940千円）、年度末残高 704件（1,722,138千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	670,000	670,000			
うち佐賀市の負担額	0	9,918			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
融資貸付額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
323,335	1,407,000 628,940	1,407,000	1,407,000	1,407,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス発生時に資金需要があった企業に対しては十分な資金が行き届いており、日本政策金融公庫・商工中金が取扱っている新型コロナウイルス感染症特別融資の利用及び借換が多く発生しているため借入金額が伸び悩んだ。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工団体・金融機関と連携するとともに、市報・HP等を利用し広報活動を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	商工中金預託事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内中小企業団体及び組合員に対する資金供給を円滑にするため、商工組合中央金庫佐賀支店に預託する。 市内の中小企業団体及び組合員が、必要な時に資金調達ができるようになり、経営の安定化が図られ、健全な経営を行うことができる。				
事業の対象者	中小企業団体及びその組合員				
令和3年度 主な活動実績	市内中小企業団体及び組合員に対する資金供給を円滑にするため、商工組合中央金庫佐賀支店に預託した。 ・預託金額 200,000千円 ・令和3年度貸付状況 165件（41,641,000千円）、年度末残高 150件（15,474,000千円）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	200,000	200,000			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
融資貸付額					百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,502	36,000 41,641	36,000	36,000	36,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症特別融資の取扱いもあり、堅調に推移している。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き商工団体・商工中金と連携するとともに、市報・HP等を利用し広報活動を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	同和金融対策事業	事業期間	昭和 46 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 金融・労政係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	雇用の確保と労働環境の向上	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	同和地区中小企業振興資金を貸付けた中小企業者等からの償還金を受入れ、同額を市の債権者である県へ償還する。その償還の円滑化を図るため、関係団体の協力を得て債務者の事業等の実態を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還に関する指導を行う。				
事業の対象者	同和地区中小企業振興資金の借入企業				
令和3年度 主な活動実績	対象となる中小企業者等からの償還金を受入れ、同額を県へ償還した。併せて債務者の事業等の実態を把握し、今後の債務管理について対応を検討するとともに、償還に関する指導を行った。 ・対象者から償還金を受け、同額を県に償還 1453千円 ・対象者のヒアリング等を実施 年2回 ・償還指導等を行った関係団体へ補助金・謝金の支給等 444千円				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,382	1,897			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
償還金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,866	1,500 1,453	1,500	1,500	1,500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	定期のヒアリング等で債務者の状況を把握し、返済を促すことができている。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き県と連携し、債務者と定期的なヒアリングを実施して状況の把握に努め、債権回収等を進める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ライトファンタジー事業	事業期間	平成 1 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGA国際バルーンフェスタの前夜祭及び、中心市街地の活性化に寄与することを目的としたサガ・ライトファンタジー事業に対し支援する。				
事業の対象者	来街者等				
令和3年度 主な活動実績	シンボルロード約1.2kmを中心にスポット電飾、街路樹電飾、沿線店舗による自主電飾、市民による電飾等の取組及び街なかの回遊性を高めるイベントの実施に対して支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で2021佐賀国際バルーンフェスタが無観客開催になったため、前夜祭のオープニングパレード（パレード、ストリートパーティー等）は中止され、点灯式（無観客）のみWEB配信された。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	30,000			
うち佐賀市の負担額	30,000	30,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来街者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29,752	30,000 38,020	35,000	35,000	40,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	街路樹等のイルミネーションを設置し、来街者の確保に努めた。また、コロナ対策としてイベントをWEB配信することで、会場以外でも楽しめる仕掛けづくりを行った。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続きサガ・ライトファンタジー実行委員会と連携し、担い手を増やすとともに魅力ある装飾を施す。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じた集客力のあるイベントを企画し、中心市街地の活性化に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	まちづくり支援事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、支援・広報・助言することにより、中心市街地の活性化を図る。また、大学・高等学校・地元小学校・専門学校等とも連携し、イベントの誘致などを行い地域との連携を図る。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、広報等で支援することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・広報番組佐賀シテイビジョン『街なか通信』を毎月2回放送し、各回1~2団体を紹介				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,481	2,626			
うち佐賀市の負担額	2,481	2,626			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント等支援件数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35 36	40	45	50		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナ禍において大規模イベントなどが中止となる中、街なかの情報発信に努め、まちづくりを行うものを支援し、街の活性化に努めた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続きNPO法人まちづくり機構ユマニテさが等事業者と連携し、中心市街地各地でまちづくりを行う者を支援し、情報発信等を行うことで来街者の増加に努め、地域活性化を図る。更に市内の各商店街を支援し、市全体としての活性化に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地通行量調査経費	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地活性化事業の効果測定のため、中心市街地及び佐賀駅バスセンターにおいて通行量調査を行う。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度 主な活動実績	中心市街地及び佐賀駅バスセンターにおける歩行者等の通行量調査を実施した。 ・調査日：7～8月及び12月の4日間（中心市街地）、1月の2日間（佐賀駅バスセンター） ・調査箇所：中心市街地の14か所（7～8月）、17か所（12月）、佐賀駅バスセンター（1月）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,126	1,392			
うち佐賀市の負担額	1,126	1,392			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
主要商店街通行量（夏季調査）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000	95,000	100,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ通行量は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、依然として外出自粛傾向があり、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業の調査結果を基に、中心市街地活性化事業の効果検証を行い、より効果的な方策を企画・立案し、実施していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか来訪者等動向調査経費		事業期間	令和 元 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係		担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化			
	基本事業	賑わい創出の支援			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイトを構築・運用し、当該サイト上で来街者向けのアンケート調査（WEBアンケート）を行うとともに、来街者の街なか回遊と消費行動を促進するための取組として、街なかクーポン事業を実施する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度 主な活動実績	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイトを構築・運用し、当該サイト上で来街者向けのアンケート調査を行うとともに、来街者の街なか回遊と消費行動を促進するための取組として、街なかクーポン事業を実施した。 ・WEBサイトの構築、運用（閲覧者数：21,958人、掲載店舗数：112店舗） ・来街者向けWEBアンケート調査の実施（アンケート回答者数：1,712人） ・街なかクーポン事業の運用（クーポン利用者数：1,962人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,440	8,827			
うち佐賀市の負担額	1,850	4,904			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
WEBサイト閲覧者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,313	11,500 21,958	13,000	14,000	15,000	

成果指標②					単位
主要商店街通行量（夏季調査）					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000	95,000	100,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	WEBサイトの機能・コンテンツを充実したことにより、サイトの閲覧者等が大幅に増加し、目標を達成できた。一方、前年度に比べ通行量は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、依然として外出自粛傾向があり、目標値を下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

来街者が複数拠点（店舗、スポット等）を回遊する仕組みを充実させるとともに、街なかの店舗が来街者ニーズに適應できる機会を創出することにより、街なかの魅力を引き上げ、来街と回遊・消費行動を一層促進していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	未来技術を活用した街なかブランディング事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	来街者のニーズに適切し、多様な人の流れ（回遊・消費行動）を創出する「スマート街なか」の実現に向けて、国内外におけるスマートシティの潮流を意識しながら、中心市街地においてデジタル技術を活用した各種プログラムを実施する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 街なかにおけるデジタル技術活用の可能性や先進事例の調査・研究等を行い、街なか未来技術活用モデルプラン（佐賀駅バスセンターサイン再編計画を含む。）を策定した。 来街者のニーズに適切し、多様な人の流れ（回遊・消費行動）を創出する「スマート街なか」の実現に向けて、中心市街地においてデジタル技術活用による実証プロジェクトを展開し、多機能型情報メディア（A Iカメラ等を搭載したデジタルサイネージ）を設計・構築した。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	26,857			
うち佐賀市の負担額	0	13,029			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	デジタル技術を活用した新たな方策を企画・立案するとともに、官民連携による取組を展開したことにより、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
デジタル技術を活用した取組は、街なかへの多様な人の流れを創出する上で、実情に応じた最適解を提供できる有効な手段となり得るため、来街者のニーズに適切する方策を官民連携により見出すとともに、取得し蓄積したデータや、適応策等を中心市街地の事業者等に還元し、経営に活用してもらうことによって、中心市街地全体としての効果的な需要の取込みを図る。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

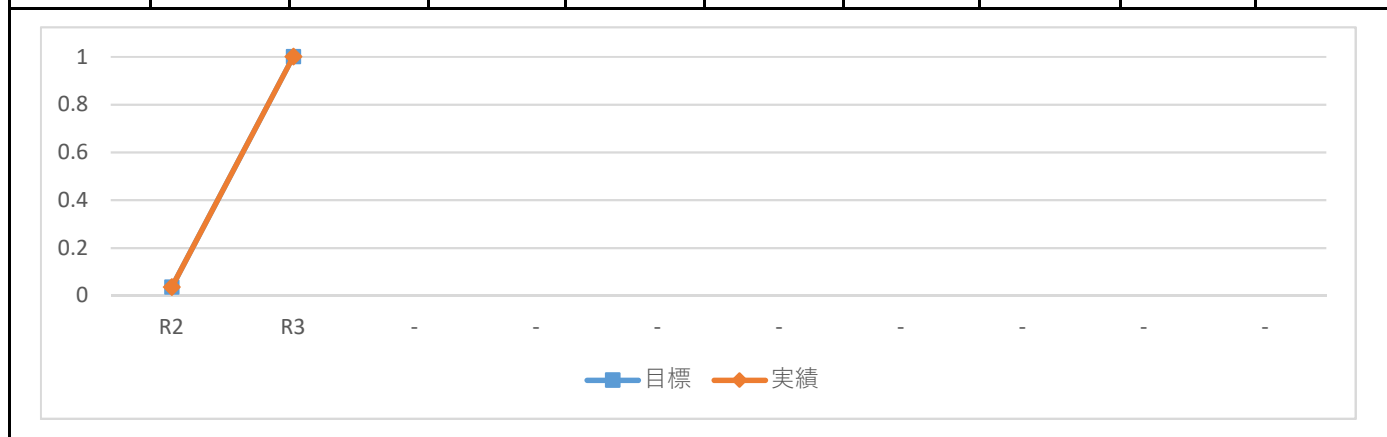
公共事業名	旧TOJIN茶屋解体事業		事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係		担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 公共事業の基本情報

整備概要	旧TOJIN茶屋は、震度6以上の地震発生時に倒壊又は崩壊する危険性が高いことから、令和2年度に解体等経費の調査、令和3年度に解体等事業に着手した。				
整備の目的	震度6以上の地震発生時に倒壊又は崩壊する危険性が高いことから、利用者の安全確保及び建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）の趣旨を勘案し、解体することとなった。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
工事請負費	928	48,125			
測量・監理等委託料	729	433			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	180				
計	1,837	48,558			
うち佐賀市の負担	124	42,148			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					49,053
測量・監理等委託料					1,162
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					180
計					50,395
うち佐賀市の負担					42,272

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	3.6%	100.0%								
	3.0%	100.0%								



令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか交流広場管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人々に憩いと交流の場を提供することにより、街なかの賑わいを創出するとともに、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和3年度 主な活動実績	街なか交流広場の適正な管理を行うとともに、人々に憩いと交流の場を提供することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・利用者数：15,391人（前年度 12,797人） ・催事数：236回（前年度 219回）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,768	3,021			
うち佐賀市の負担額	3,768	3,021			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
街なか交流広場利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,797	13,000 15,391	25,000	30,000	35,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用促進広報及びイベント情報の発信を行うことができた。



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が例年に比べ減少した。今後は、指定管理者と連携し、利用者の増加に向けて、利用者の意見の反映や設備の改修を行いながら利便性の向上に向けて取り組んでいく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか再生計画推進事業	事業期間	平成 23 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成22年度に策定した佐賀市街なか再生計画に基づき、エスプラッツ、佐賀玉屋、佐嘉神社・徴古館、呉服元町・柳町の4核を中心とした街なかを人々が回遊できる方策等を検証し確立する。具体的には、街なかの空き地へのコンテナの設置、遊休不動産の利活用の推進等を図ることによって、来街を促進するとともに、街なかの回遊性を向上させ、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度 主な活動実績	街なかを人々が回遊できる方策として、わいわい！！コンテナ2管理事業、新馬場通り活性化事業、遊休不動産活用促進事業を実施し、まちゼミの開催に係る経費の一部を助成した。 ・わいわい！！コンテナ2の来館者数：53,329人 ・空き店舗・空き家活用セミナー・見学会の参加者数：74人、遊休不動産活用促進利子助成件数：4件 ・まちゼミへの参加者数：329人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,587	20,945			
うち佐賀市の負担額	19,137	17,146			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	遊休不動産の活用促進に向けた取組が定着し、効果が発現してきたこと等により、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、来街者の回遊性の向上や中心市街地の賑わい創出に寄与するような仕掛けづくりを行うとともに、先進地の事例研究等により、段階的に民間事業者に移行させていく仕組みを検討していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中央大通り再生計画推進事業	事業期間	平成 27 ~	年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市中央大通り再生計画（平成26年度策定）の実践プログラムに基づき、各種方策を検討・実施することにより、佐賀市のシンボルロードである中央大通りの再生を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 中央大通り沿線の将来像、土地利用方針、民間投資喚起策等の検討・構築（市民参加型ワークショップ：2回、沿線地権者アンケート調査、中央大通り再生会議の開催：3回） 中央大通りに関して不特定多数の者を対象とする民間主体のイベント等の開催支援（開催イベント数：7件、イベント参加者数：976人） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,391	12,554			
うち佐賀市の負担額	1,396	2,277			

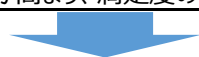
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	沿道建築物の解体等が本格化する中、中央大通り沿線の将来像等を策定し、当該エリアの目指す姿を明確に発信するとともに、具体的な方策を立案したこと等により、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
中央大通り沿線の将来像の実現に向けて、土地利用方針に沿った機能配置を促進する方策として、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」等を講じることにより、中央大通りに更なる人の流れを生み出す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

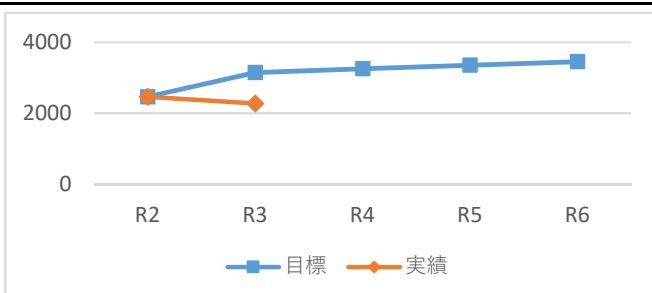
事務事業名	街なかふれあいプラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

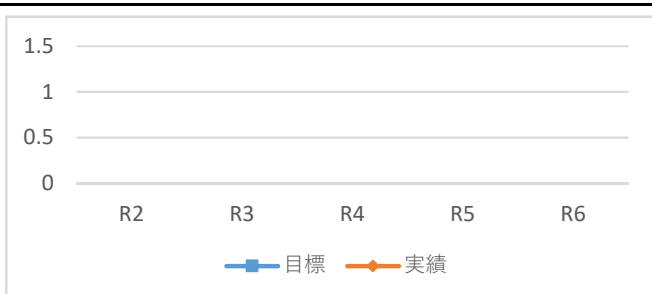
事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの街なかふれあいプラザ（1、2階）について、指定管理者を選定し、施設管理、テナント誘致及び集客力向上に取り組むとともに、老朽化した館内設備を改修し、施設の利便性を向上させることによって、中心市街地居住者及びオフィスワーカー等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度主な活動実績	佐賀市街なかふれあいプラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和3年度街なかふれあいプラザ入場者数：799,843人（対前年度比7.7%減） ・指定管理者：株式会社ミズ				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	57,237	57,363			
うち佐賀市の負担額	57,237	57,363			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
街なかふれあいプラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,464	3,150 2,276	3,250	3,350	3,450		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する外出自粛、近隣飲食店の時短営業等の影響を受けたため、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、施設内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で実施される他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化交流プラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの文化交流プラザ（3階）について、指定管理者を選定し、施設管理及び集客力向上に取り組むとともに、耐用年数を経過した機器等について計画的に更新を行うことで、中心市街地居住者等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和3年度主な活動実績	佐賀市文化交流プラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和3年度交流センター入場者数：25,053人（対前年度比24.0%増） ・指定管理者：株式会社佐賀新聞文化センター				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	74,399	70,078			
うち佐賀市の負担額	60,695	56,442			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
文化交流プラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	140 70	160	180	200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する外出自粛、イベントの規模縮小等の影響を受けたため、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、施設内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で実施される他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀商工ビル転貸フロア等管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀商工ビルの一部フロアを市が事業者からリースして、旧商工会館のテナントや公共公益的団体等への転貸し、施設の管理運営を行うことによって、勤務者や利用者等が中心市街地を日常的に訪れ、賑わう状況を創出する。				
事業の対象者	佐賀商工ビル入居者及び関連団体				
令和3年度 主な活動実績	佐賀商工ビルにおいて、市がリースする転貸フロアの管理運営を行った。 ・転貸フロアの入居者数：21団体 ・転貸フロアの占有面積：692坪				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	106,650	101,522			
うち佐賀市の負担額	37,287	36,530			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
372,191	430,400 308,814	438,600	446,800	455,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響等により、生活様式に変化（テレワーク、リモート会議の増加等）が生じたことから、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
来館者数の増加に向けて、施設利用者や入居団体から意見聴取等を行い、管理組合と連携して、施設の利便性・快適性の向上に努める。

令和4年度 事務事業実績報告シート

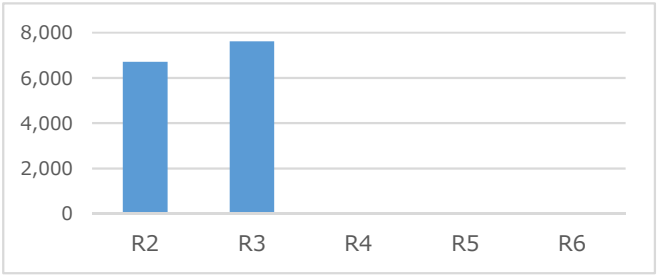
事務事業名	事業継続支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O2活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

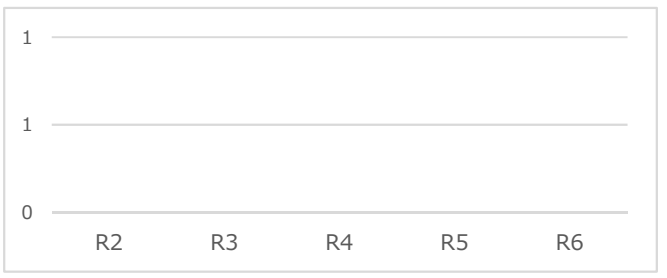
事業概要・目的	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、売上が大きく減少した市内事業者の事業継続を支援するため、市独自の支援金を支給する。</p> <p>【事業継続支援金】売上減少等の要件を満たす事業者に対し、法人20万円、個人10万円（一定の要件を満たす場合は、法人40万円、個人20万円に上乘せ）を支給する。</p> <p>【第2次事業継続支援金】売上減少等の要件を満たす事業者に対し、法人10万円、個人8万円を支給する。</p> <p>【第3次事業継続支援金】売上減少等の要件を満たす事業者に対し、法人10万円、個人8万円を支給する。</p>				
事業の対象者	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、売上が大きく減少した市内事業者				
根拠法令等	佐賀市事業継続支援金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,495,879	688,308			
うち佐賀市の負担額	0	109,886			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
支給事業者数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
6,714	7,615				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令等を受け、経済活動が大きく制限されることによって、事業者の事業継続が困難になることが予想されたため、佐賀市独自の「事業継続支援金」（受付期間：令和2年5月1日～8月28日）を支給し、実績は6,311件であった。県による飲食店への営業時間短縮要請等を受けて支給した、「第2次事業継続支援金」（受付期間：令和3年3月22日～6月30日）の実績は3,747件（R2:403件、R3:3,344件）、「第3次事業継続支援金」（受付期間：令和3年10月15日～12月24日）の実績は4,271件であった。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	新しい生活様式対応催事開催支援事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	02活力ある商工業の振興	
	基本事業	既存商工業の経営支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域商業の持続的な賑わいの創出を図るとともに、地域経済の早期活性化に資することを目的として、新しい生活様式に対応した催事を実施する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。 ・採択数 14件（商店街等1件、5者以上13件）				
事業の対象者	市内に事業所のある5事業者以上の中小・小規模事業者又は商店街組織等				
根拠法令等	佐賀市補助金交付規則、新しい生活様式対応催事開催支援事業費補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額		11,342			
うち佐賀市の負担額		0			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
補助金申請件数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
	14					
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

中小・小規模事業者、商店街組織等が新型コロナウイルス感染防止策を行いながら取り組み、持続的な賑わいの創出を図ることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域商業の早期回復を後押しした。
 今回の事業によって得たノウハウをもとに、事業終了後も継続して、地域商業の賑わい創出に寄与していくことを期待したい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか出店伴走支援事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の空き店舗等を活用する新規出店者を対象として、地元商店街と連携して実施する経営アドバイス会等の取組を支援することにより、経営ノウハウの習得機会等を提供し、店舗経営者の育成及び遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和3年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、補助を行った。(新規出店者数：1人)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		1,210			
うち佐賀市の負担額		710			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	3 1	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和3年度から新たに取り組んだ事業であり、十分に取組の認知度を高めることができなかったこと等により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
実施主体と連携して広報の強化を行うとともに、活用可能な遊休不動産の掘り起こし、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地機能複合化推進事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	商業振興課 商業振興係	担当課長名	樺木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地において、多様な働き方の受け皿を確保し、商業だけでなく、働く場としての機能を付加することを目的とし、中心市街地の遊休不動産を活用したオフィス機能の整備費を補助する。				
事業の対象者	事業者等				
令和3年度 主な活動実績	・補助対象者の選定に係る審査を実施（審査実績：1件） ※補助対象者による施設整備が、新型コロナウイルス感染症に起因するウッドショックにより、資材調達が困難となったため、令和4年度に繰り越した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	18			
うち佐賀市の負担額	-	18			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規開業件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1 -	1	1	1		

成果指標②						単位
オフィス機能整備面積（累計）						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100 -	200	300	400		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和4年度に事業を繰り越したため。

成果目標達成に向けた対応策等

新型コロナウイルス感染症を契機とした多様な働き方のニーズの把握、活用可能な遊休不動産の掘り起こしに努め、4核構想エリア及び中央大通りエリアにおいて、商機能の集積との相乗効果により、街なかへの人の流れを創出する。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

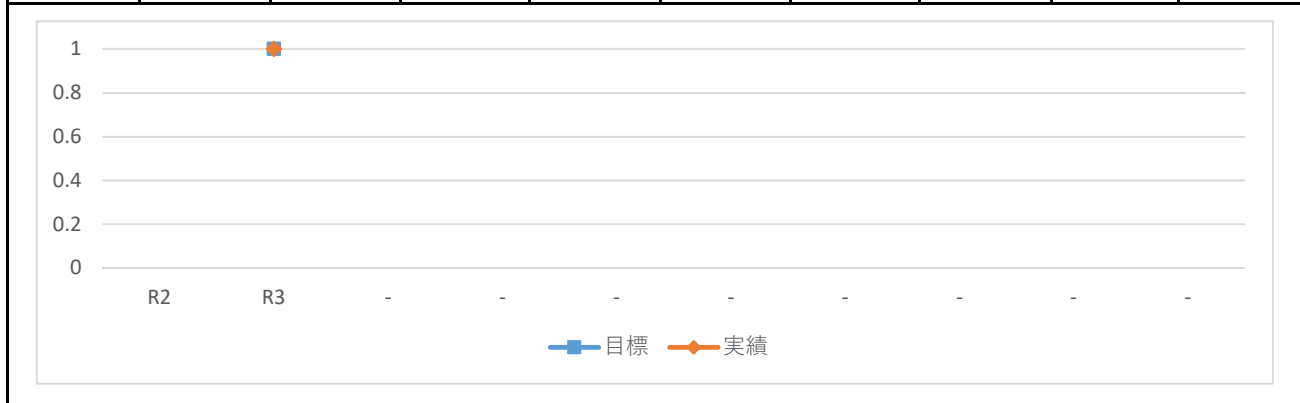
公共事業名	バスセンター設備等改修事業		事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係		担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀駅バスセンターの電気設備の耐用年数に伴う更新及び空調設備の部品交換等の修繕工事				
整備の目的	佐賀駅バスセンターの適切な管理を行ため、電気設備の更新及び空調設備の修繕を行う。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
工事請負費		21,351			
測量・監理等委託料		1,171			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等		21			
計	0	22,543	0	0	0
うち佐賀市の負担		22,543			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					21,351
測量・監理等委託料					1,171
用地購入費					0
補償費					0
その他事務費等					21
計	0	0	0	0	22,543
うち佐賀市の負担					22,543

2 事業の進捗率

R2	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
	実績	R3	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
		100.0%								
		100.0%								



令和4年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	バスセンターサイン再編整備事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	商業振興課 街なか再生係	担当課長名	樫木 豊
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀駅バスセンターのサイン再編事業（撤去・新設、配置見直し、案内表示・時刻表の多言語化、デジタルサイネージの設置等）				
整備の目的	佐賀駅バスセンターのサイン再編により、来街者（市民、国内外観光客等）に対し、観光施設等への円滑な誘導を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料		4,400			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	0	4,400	0	0	0
うち佐賀市の負担		2,200			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					0
測量・監理等委託料					4,400
用地購入費					0
補償費					0
その他事務費等					0
計	0	0	0	0	4,400
うち佐賀市の負担					2,200

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
		30.0% 14.6%	100.0%							

